

第1回 千曲川覆土変状要因調査検討委員会 議事要旨

開催日時： 令和6年6月25日(火) 11:00～12:00

開催場所： (WEB 併用)

北陸地方整備局 会議室

千曲川河川事務所 会議室

資 料： 議事次第、出席者名簿、資料-1～資料-5

1. 委員会の概要

- 長野観測所の5月の大雨発生頻度を分析した資料について委員より説明を行った。長野観測所では135年間の雨量データがあり、2日雨量では最初の覆土変状が発生した令和5年5月の79mmは観測史上最大であった。

超過確率は1/144～1/237であり、概ね200年に1回の規模の大雨であったといえる。これほどの大雨が芝が活着しない時期に降ったということも覆土変状の要因と考えられる。

- 千曲川の概要、令和元年東日本台風の概要及び信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの概要、覆土変状の概要、応急対応について事務局(千曲川河川事務所)より説明を行った。

2. 委員会意見

- 形状や降雨以外の土質に関する情報、浸透係数を整理した方が良い
- 変状箇所ごとの状況がわかる詳細な図面(平面図、断面図)を整理した方が良い
- 繰り返し変状している箇所については状況がわかるように時系列で整理した方が良い
- 覆土の変状事例についてまとめた方が良い

■ 委員会の様子



< WEB 会議 >